2018 年度 兵庫県立がんセンターがん看護実務研修実施要項

1．目的

がん看護の均てん化を図るために、がん看護に携わるジェネラリスト看護師の知識と実践能力の向上を図る。

2．目標

⑴ ジェネラリスト看護師が最新のがん医療を理解し、臨床において安全・安楽に看護実践することで、治療を受けるがん患者の支援ができる。

⑵ がん治療や看護における動向を踏まえ、自施設における看護の役割を考えることができる。

⑶ がん患者に対して質の高い看護ケアが提供できる。

（コミュニケーション技法、ストーマケア、ファシリテーション、ポジショニングと嚥下指導、リンパ浮腫ケア）

⑷ 所属するチームにおいてリーダーシップを発揮し組織改善に向けた行動がとれる。

3．対象者

⑴ がん看護の実践力向上を図りたい方。

⑵ 施設長もしくは看護部長の推薦がある方。

4．募集人員

18 名　　※定員を超えた場合は、書類選考とさせて頂きます。

5．期間、日程

⑴ 講義、演習

2018 年 6 月 1 日（金）～8 月 31 日（金）の期間中、週1～2 日の 17 日間

⑵ 実習

2018 年 8 月 15 日(水) ～8 月 30 日(木)

病棟（10 日間）、訪問看護ステーション(1日)、看護外来や化学療法センター等（1日）

⑶ 事例発表会、閉講式

2018 年 9 月 7 日（金）

⑷ フォローアップ研修（研修終了 6 ヶ月後）

2019 年 2 月 22 日(金)

＊ フォローアップ研修を含めて 31 日間の研修とする。

6. 内容

(1) 講義・演習 （別紙資料参照）

がん看護に携わる看護師に必要な知識、技術によりプログラムを構成しています。

『わかる！納得編』では、標準的に必要ながん治療や看護について学びます。

『知る！知識編』では、話題の免疫チェックポイント阻害剤、遺伝性腫瘍をテーマに最新の情報を提供します。

『できる！スキルアップ実践編』では、「患者・家族、スタッフ間でのコミュニケーションスキル」「ストーマケア」「ファシリテーション」「誤嚥を起こさないポジショニングと嚥下指導」「リンパ浮腫のケア」の基本をしっかり修得し、実践できるように演習します。

講師は、当センターをはじめとする兵庫県立病院の専門看護師や認定看護師、専門の医師、外部講師らで構成しています。

(2) 実習

実習は当センターで行います。病棟実習後、がん相談支援センターや看護外来、化学療法センター、ストーマケア外来等、研修生それぞれの課題に応じた実習場所を選択して頂けます。

その他、地域におけるがん看護を学ぶため、訪問看護ステーションの実習を 1 日組み込んでいます。実習中には、がん看護専門看護師や各領域の認定看護師が支援者としてサポートします。

7. 修了条件

講義・実習を含めて、総時間数の 80%以上出席していること。

8. 修了証書の発行

修了条件を満たした方には、実務研修最終日に当センター院長より修了証書を交付します。

9. その他

(1) 講義場所は当センター内の会議室で行います。

(2) 講義受講料は無料です。訪問看護ステーションの実習は、実費となります。

(3) 通勤にかかる費用は各施設または個人負担とします。

(4) 遠方で通勤が困難な研修生については、当センターの看護師宿舎を貸与できます。
希望される方は受講申込書の所定欄にご記入ください。

(5) 図書は、研修期間中、当センターと兵庫県立大学看護学部の図書室を利用することが可能です。

(6)『わかる！納得編』『知る！知識編』についての講義は、各講義ごとの聴講が可能です。
『できる！スキルアップ実践編』については、研修参加という形で原則 1 日単位での申し込みとなります。(6/28～6/29、8/6～8/7 は 2 日単位)

2018 年度　がん看護実務研修　講義内容一覧

	科目	ねらい	内容	講師
	がん医療・看護の動向がん登録制度の意義と動向	がんの政策、がん医療や看護の動向がわかる。	最近のがん医療をふまえたがん看護の動向を学習し、広い視野でがん看護をとらえます。その上で、自己の施設における看護の役割を考えることができる目を養います。	院長；吉村　雅裕 副院長兼看護部長； 中川　裕美子 診療情報管理士； 山口　真理子
	がんの細胞生物学	がん細胞の成り立ちや特徴がわかる。	がんの臨床を理解するために、がんとは何か、がん細胞の成り立ちや特徴についてのわかりやすい講義です。	研究部長兼ゲノム医療・臨床試験センター次長（ゲノム医療担当）； 須藤　保
	がんの手術療法と看護	がんの手術療法の特徴をふまえ、周術期の看護を学ぶ。	がんの手術療法の特徴についてわかりやすく解説します。看護では、周術期や術前・術後ケアの看護について病棟においても活かせるポイントを押さえた講義です。周術期の看護に関わる方だけでなく病棟看護師の方にもとても参考になります。	副院長兼消化器外科部長； 富永　正寛 手術看護認定看護師； 村上　貴子
	フィジカルアセスメントと急性期看護	フィジカルアセスメントと急性期の看護の要点がわかる。	臨床で必要な呼吸・循環・神経系のフィジカルアセスメントを学びます。がん患者の急変時の心構えも対応も違ってきます。どのような症状があるのか、急変時の対応について講義と演習で学びます。	集中ケア認定看護師； 山本　智代
	がんの化学療法と看護	抗がん剤の特性や治療を理解し、副作用対策や具体的な指導についてわかる。	抗がん剤ってそもそもどうして癌に効くの？？抗がん剤の特性がわかり、集学的治療の観点からもがん化学療法を学びます。有害事象とケアの実際、安全な抗がん剤の取り扱いがわかり、外来で化学療法を継続する患者の副作用対策など具体的な患者をイメージした講義になっています。	腫瘍内科医長； 尾上　琢磨 がん化学療法看護認定看護師；竹田　元美
	放射線療法と看護	放射線療法の特性や治療を理解し、副作用対策や具体的指導についてわかる。	放射線療法の「今」が理解できる人気の講座です。集学的治療の観点からも放射線治療を学びます。入院だけでなく外来で放射線治療を継続する患者の支援や放射線を過去に受けた患者の晩期障害など臨床で役に立つ講義です	放射線治療科部長； 太田　陽介 がん放射線療法看護認定看護師；西村　美穂
	がん患者のリハビリテーションと看護	がん患者のリハビリテーションに必要な知識を学ぶ。	退院後のQOLを考えた生活者としての支援が必要です。がん患者の生活をベースに考えたリハビリテーションと看護を学びます。	理学療法士；木村　紳一郎 作業療法士；稲本　貴大

	地域における緩和ケアの提供	地域への連携や地域における患者家族の問題と看護師の役割についてわかる。	地域包括ケアの推進が言われる中、がん患者さんの療養の場所も多様化しています。がん患者の療養支援に必要な基礎知識とスキルをふまえて、地域における緩和ケアの実際、これからの緩和ケアについて学びます。退院支援に役立つこと間違いなし！また、訪問看護のスペシャリストから在宅におけるエンド・オブ・ライフケアの実際について学びます。	北須磨訪問看護・リハビリセンター 所長 慢性看護専門看護師； 藤田 愛 地域医療連携室看護師； 貫田 公子

	科目	ねらい	内容	講師
	症状マネジメントとケア	がん患者に多くみられる苦痛症状の治療とケアがわかる。 症状マネジメントの考え方と具体的方法がわかる。	痛み・吐き気・呼吸苦・倦怠感・不眠・不安など、厚生労働省委託事業の日本看護協会『看護師に対する緩和ケア教育テキスト』の症状のメカニズムとそれらに対する薬物療法について学習します。午後からは大阪大学大学院医学系研究科荒尾教授にお越しいただき、オレムのセルフケア理論をベースに、看護が行う症状マネジメントのための統合的アプローチや非薬物療法などを学びます。	緩和ケアセンター長； 池垣 淳一 大阪大学大学院医学系研究科教授； 荒尾 晴惠
	せん妄ケア	せん妄の病態を理解し、適切な予防・対応ができる。	急性期病院だけでなく施設でも在宅でも困っている症状の上位に挙げられている「せん妄」。正しく理解し、適切な対応をすることで、予防や症状の悪化を防ぐことができます。せん妄の理解が深まる研修です。	緩和ケアセンター看護師長 緩和ケア認定看護師； 西村 晴美
	臨床倫理	倫理的感受性を高め、倫理上のジレンマに陥った場合の対策がわかる。	看護の規範でもある「看護の倫理綱領」。質の高い看護を行う上で重要となる看護倫理。倫理とは何か、なぜ 重要かを事例を用いて理解し、倫理的感受性を高め、倫理上のジレンマに対処できる！ 皆さんの悩みにもお答えします。	緩和ケアセンター がん看護専門看護師； 日下 咲
	がん患者と家族の心理的サポート	がん患者と家族におこる心の動き、家族ケアを理解し援助の仕方がわかる。	リエゾン精神看護専門看護師が理論を軸にがん患者や家族の心理過程、意思決定プロセスにおける精神的支援など、明日から使える精神面のアセメント力がアップする研修です。午後は家族看護のパイオニア、神戸市看護大学学長の鈴木志津枝先生の家族ケアの講義です。家族の役割、適応力などを理解し、家族の関係性に働きかける援助について学習します。	県立淡路医療センター 精神看護専門看護師； 大北 正三 神戸市看護大学学長； 鈴木 志津枝

	がんサバイバーの支援	がんサバイバーの概念を知り、サバイバーシップに応じた支援がわかる。	研修前はがんサバイバーって何？とわからなかった方も、帰る頃にはサバイバーシップの課程に応じた支援をやってみようと思える研修です。がんサバイバーの体験、置かれている状況・ニーズについて理解しアピアランスケアや看護援助について学びます。	がん相談支援センター看護師長 がん看護専門看護師； 橋口　周子
	事例検討手法	事例検討の手法を学び、事例検討の方法がわかる。	効果的な事例検討ができる、事例の分析方法を学びます。事例検討におけるプレゼンテーションの基礎や、どのように展開していくかなど、事例の分析の仕方がわかります。実際に役立つ事例検討手法です。	病棟看護師長 がん看護専門看護師； 伊藤　由美子

	科目	ねらい	内容	講師
	最新のトピックス	最新の診断・治療・看護についての情報を知る。	今話題の最新のがん治療のトピックスを今年度はさらに充実のラインナップ！テレビでおなじみの里内先生の講義もありますのでお見逃しなく！ ＜免疫チェックポイント阻害剤＞ ＜遺伝性腫瘍総論＞　＜遺伝カウンセリング＞	化学療法担当部長兼呼吸器内科部長兼ゲノム医療・臨床試験センター次長（臨床試験担当）； 里内　美弥子 がん化学療法看護認定看護師；藤木　育子 腫瘍内科医長；松本　光史 がん看護専門看護師； 日下　咲
	緩和ケア概論、各論コミュニケーション	患者・家族をトータルペインの視点でとらえることができる。 チームアプローチを有効に行うためのコミュニケーションスキルが実践できる。	緩和ケアと一口に言っても説明できますか？　緩和ケアとは？　トータルペインとは？　臨床上の言葉の意味や臨床経過に沿ってがん患者が抱える苦痛について理解し、その緩和に向けた看護の援助について探ります。また、患者・家族とのコミュニケ―ションだけでなく、医療者同士でのコミュニケーションも踏まえ、スキルアップを図ります。	緩和ケアセンター看護師長 緩和ケア認定看護師； 西村　晴美 緩和ｹｱｾﾝﾀｰ看護師長補佐 緩和ケア認定看護師； 西海　嘉能
	ファシリテーションとリーダーシップ	ファシリテーションについての理解を深め、現場での変革や人材育成に活かすことができる。	ファシリテーションの意味、手法、ファシリテーションによるエンパワーしあえる関係性づくりなど、自施設での 多職種協働にも活かせる大人気の浦山絵里先生を迎えての２日間です。『うらりんワールド』全開の、講義と演習を巧みに取り入れた、現場でのチャレンジに明日から活かせる研修です。	ひとづくり工房 esuco 代表；浦山　絵里

	実践できる 高齢者看護 栄養管理 摂食嚥下障害看護	高齢者の栄養管理や摂食嚥下障害に必要な知識を学ぶとともに、誤嚥を起こさないポジショニングと嚥下指導ができるようになる。	がん患者には治療をするだけではなく、退院後のQOLを考えた生活者としての支援が必要です。がん患者も高齢化しています！ 高齢者の発達段階や栄養療法、摂食嚥下障害の基礎を押さえた上で、実際の嚥下指導の演習を行います。	管理栄養士；尼子 恵理子 栄養サポートチーム看護師； 岩城 淳子 認知症看護認定看護師； 吉田 夕希子 摂食・嚥下障害看護認定看護師； 水野 裕恵 皮膚・排泄ケア認定看護師； 山本 佳子
	実践できる リンパ浮腫ケア	ジェネラリストができるリンパ浮腫ケアやセルフケア指導が理解でき実践できる。	そのむくみは本当にリンパ浮腫？リンパ浮腫の病因・病態、複合的治療について学習します。 ジェネラリストの看護師ができるセルフケア指導やケアについて実践できるようになります。	医療リンパドレナージセラピスト；松本 樹里
	実践できる スキンケアとストーマケア	がん治療とスキンケアの知識とスキルを習得し、ストーマケアができるようになる。	がん患者は疾患や治療により、皮膚が脆弱となっています。患者の QOL にも大きく影響するスキンケア。スキンケアの必要性と対策を理解し、明日からできるスキンケア・ストーマケアの方法を身につけます。	皮膚・排泄ケア認定看護師； 山本 佳子